

身上の問題と混同するものである。

八

右の如き 架空的な

理由に依つて拒絶しなければ會社の經營が不可能なる程の問題でなく、又會社が退職手當の制定も出来ない程の缺損續きの状態にある會社と云へば、決してそうでない。本年上半期の利益金は三十萬二千六百餘圓を擧げその配當は年二割五分弱をなす程の成績を擧げてゐる會社である。この利益金は會社の言ふ所に従へば名古屋本工場で儲けて、大阪支工場は損をしてゐるに云ふ。併し決算は本支両工場の合併計算であつて大阪に特に缺損の刻印を捺さなくても良い。理由は名古屋は専門的な織機の製作でありその規模と準備の完成してゐて大量的生産方法であるに反して、大阪工場は日本に於て最も困難なる紡機の製作であり併も部分的小規模の生産型態なるが故に、拾毫、二十毫と纏た生産が行はれず、その生産についても新工夫を發案し改良に改良を加へる關係から作業の準備に幾多のカクレタル努力と犠牲が今日漸く歐米の生産品に優るとも劣らない優秀なる紡機が生産されるに至りしは會社當事者もその聲明書中に認めてゐる所である。この多大の犠牲と努力を無視して營利的に考課状の上で大阪は缺損をしてゐると云ふことは、企業家及經營者の言ふべき事ではない。

更に會社側は聲明書に曰く「今や會社ハ國外ノ強敵ニ對シ紡績機械ノ製造ノ成否ノ岸頭ニ、立チテ

ソノ製作作業ノ成功ヲ爲スハ如何ニセバ可ナルヤト日夜心血ヲ絞ル秋ニ際シ今回ノ要求ヲ見タルハ實ニ遺憾ノ至リト言ハザルベカラズ、若シ此ノ要求ヲ容レンカ工費ノ急激ナル増加ヲ免ズシテ經營上絶大ノ支障ヲ招來スルハ炬ヲ見ルヨリ明カナルヲ以テ、要求ノ全部ヲ拒否シタル所ナリ」云、聲明してゐる。この見解は資本家的な階級的意識であつて、労働者の團体的行動に會すると極めて明瞭な意識と、この美名を揚げて、世間を胡亂化し、尙これ皆、教唆者、煽動者の仕業であり、之に参加する者を忘恩者の如く考へその主謀者を解雇しそれで一切が解決すると云ふ心理と、問題が起ればその問題の根本原因及經過並にその本質を再考せず單なる表面に表れたる事を考へて問題を處理するが如きは多數の労働者を雇備し之を統制組織し輸入防限の大使命の下に日夜心血を絞る會社當時者の取るべき手段でないのと今少し、根本的に即ち本當に輸入防限の大使命を如何にして果すべきかを考へて貰らねばならぬ。

五、今回要求の財源の捻出方法

如く縷々會社の今回の取れるその手段と方策の誤れるを指摘してきた、そこでこの要求を容れんか會社は經營困難に陥ち入ると言ふ一行について、吾人等
は更に今回要求の財源の捻出方法について述べなければならぬ。

我等は 以上の

九